

研究課題名「高度侵襲外科手術における術前の運動能力・身体活動量および栄養状態が術後成績に与える影響」に関する情報公開

1. 研究の対象

2014年3月1日から2018年7月31日までの間に、当院の消化器外科1にて高度侵襲外科手術（大量肝切除術、膵頭十二指腸切除術、食道亜全摘術、骨盤内臓全摘術、あるいはこれらの術式と同程度の侵襲の手術）を行った方

2. 研究目的・方法・研究期間

高度侵襲外科手術では術後合併症が高率に発生するため、術後合併症を軽減することが周術期管理の課題となっております。近年、術前の運動能力が術後合併症に関わっていることが明らかとなりましたが、運動能力を規定する因子である身体活動量や栄養状態が術後合併症にどのような影響を及ぼすかはまだ十分に検討されていません。そこで、本研究では、高度侵襲外科手術を受けた患者の術前の運動能力・身体活動量および栄養状態が術後成績に与える影響を調査することを目的とします。

方法は、2014年3月1日から2018年7月31日までの間に、当院の消化器外科1にて高度侵襲外科手術（大量肝切除術、膵頭十二指腸切除術、食道亜全摘術、骨盤内臓全摘術、あるいはこれらの術式と同程度の侵襲の手術）を行った方を対象とし、診療録より情報を収集します。

研究期間：倫理委員会承認日～2022年3月31日とする

3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録より以下の情報を収集します。

年齢、性別、身長、体重、既往歴、併存疾患、疾患重症度、検査歴、術式、出血量、手術時間、合併症、入院期間、転帰先、生命予後、死亡原因、検査データ（血液、レントゲン画像、CT、MRI、病理検査、微生物学検査、心電図、心エコー検査など）、リハビリテーションで得られた情報（運動機能、身体活動量、体組成、日常生活活動能力など）など。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学医学部附属病院 リハビリテーション部
理学療法士 中島裕貴

〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地

名古屋大学医学部附属病院 リハビリテーション部

電話番号：052-744-2687

FAX 番号：052-744-2688

e-mail: nkjmx1121@med.nagoya-u.ac.jp

名古屋大学医学部総務課 電話番号：052-744-1901

研究責任者：

名古屋大学大学院医学系研究科 腫瘍外科学

(名古屋大学医学部附属病院 消化器外科一)

講師 横山幸浩